

課 長	係 長	照 査	設 計

工期 令和 9年 1月29日

清閑寺ポンプ所

作 業 価 格 円

消費税及び

地方消費税相当額 円

内 訳 書 （ 総 括 ）

(1 / 1)

作 業 名	定水位調整弁分解整備（加圧施設）							
費 目	工 種	種 別	単位	数 量	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
作業費								
	機械設備工							
		直接費	式	1				
		間接費	式	1				
		諸経費	式	1				
作業価格								
消費税及び 地方消費税 相当額			式	1				
作業費計								

内 訳 書

(1 / 3)

作業名	定水位調整弁分解整備（加圧施設）								
費目・種別	細 別	形状・寸法	単位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
作業費									
直接費									
	清閑寺ポンプ所 定水位調整弁 材料費	1台分	式	1					
	小 計								(直接材料費)
	補助材料費		式	1					
	小 計								(補助材料費)
	計								[材料費]
	清閑寺ポンプ所 定水位調整弁 分解整備費	1台分	式	1					
	計								[労務費]

内 訳 書

(2 / 3)

作業名	定水位調整弁分解整備（加圧施設）								
費目・種別	細 別	形状・寸法	単位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
	直接費計								直接費
間接費									
	間接費	産業廃棄物運搬処分費	式	1					
	間接費計								間接費
計（請負原価）									
諸経費									
	諸経費		式	1					
	諸経費計								諸経費
作業価格									

内 訳 書

(3 / 3)

作業名	定水位調整弁分解整備（加圧施設）								
費目・種別	細 別	形状・寸法	単位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
消費税及び 地方消費税 相当額			式	1					
作業費計									

定水位調整弁分解整備
(加圧施設)

特 記 仕 様 書

京 都 市 上 下 水 道 局

建設リサイクル法	
☐ 適用	☒ 適用外

1 共通事項

本仕様書に記載のない事項については、令和7年12月版の「水道部施設課 作業一般仕様書（委託）」による。

なお、「水道部施設課 作業一般仕様書（委託）」は水道部施設課で配布する。

2 作業概要

本作業は、清閑寺ポンプ所の受水池用定水位調整弁が長期使用により機能が低下し使用限度に達しているため、点検整備を行い事故防止及び本設備の機能回復を図るものである。

3 作業場所

京都市東山区清閑寺山ノ内町10番地3	清閑寺ポンプ所
--------------------	---------

4 完成期限

令和9年1月29日とする。

5 機器仕様

名称	定水位調整弁
製造者	株式会社 森田鉄工所
型式	MFC-100
製造番号	861-8172-2
口径	φ75
設定水位	1.85m(全閉水位)
製造年	平成14年(2002年)
数量	1台

6 作業内容

- (1) 各部の点検清掃を行い、別紙1に示す部品を交換する（図面及び表を参照）。

なお、交換部品は既設と同等以上のものとする。

- (2) 監督員立会いのもと、試運転調整を行い、各部に異常がないことを確認する。
- (3) 補修塗装を行う。

7 その他事項

- (1) 受注者は作業予定表を提出し、作業順序及び方法、日程等について監督員と協議し、承諾を受けること。
- (2) 作業に必要とする工具及び計測機器等は、受注者が用意すること。
- (3) 必要に応じて、作業前に酸素濃度の測定を行い、酸素濃度が基準以下の場合は送風機等で十分に換気し、安全確認をしたうえで作業を行うこと。

(4) 使用する測定機器については、国家標準につながる校正を行ったことを示す証明書を報告書に添付すること。

(5) 局所有の設備等を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を得ること。

(6) 点検整備中に異常が発見された場合には、監督員と十分協議の上、その指示に従うこと。

(7) 作業場所及びその付近は、常に整理整頓し、作業終了後は後片付け及び清掃を行うこと。

(8) 注意事項等

ア 本作業の対象設備は、施設の受水池水位制御において重要な設備であり、システム全体として動作しているものである。従って、作業前には必ず設備単体の構造及び機能だけでなく、動作状態の確認を行い、シーケンスを熟読し理解しておき、設備の影響範囲を十分把握したうえで作業を行うこと。

イ 作業に当たっては、施設運用に支障が起こらないよう、対象設備の運転について熟知した技術者が施行すること。

なお、作業に伴う弁の開閉操作、電源の入切等は監督員の指示に従い行うものとする。

ウ 設備に故障が生じたり、事前に故障の原因となる要件が判明したりしたときは、速やかに監督員と協議を行い、対応を決定すること。

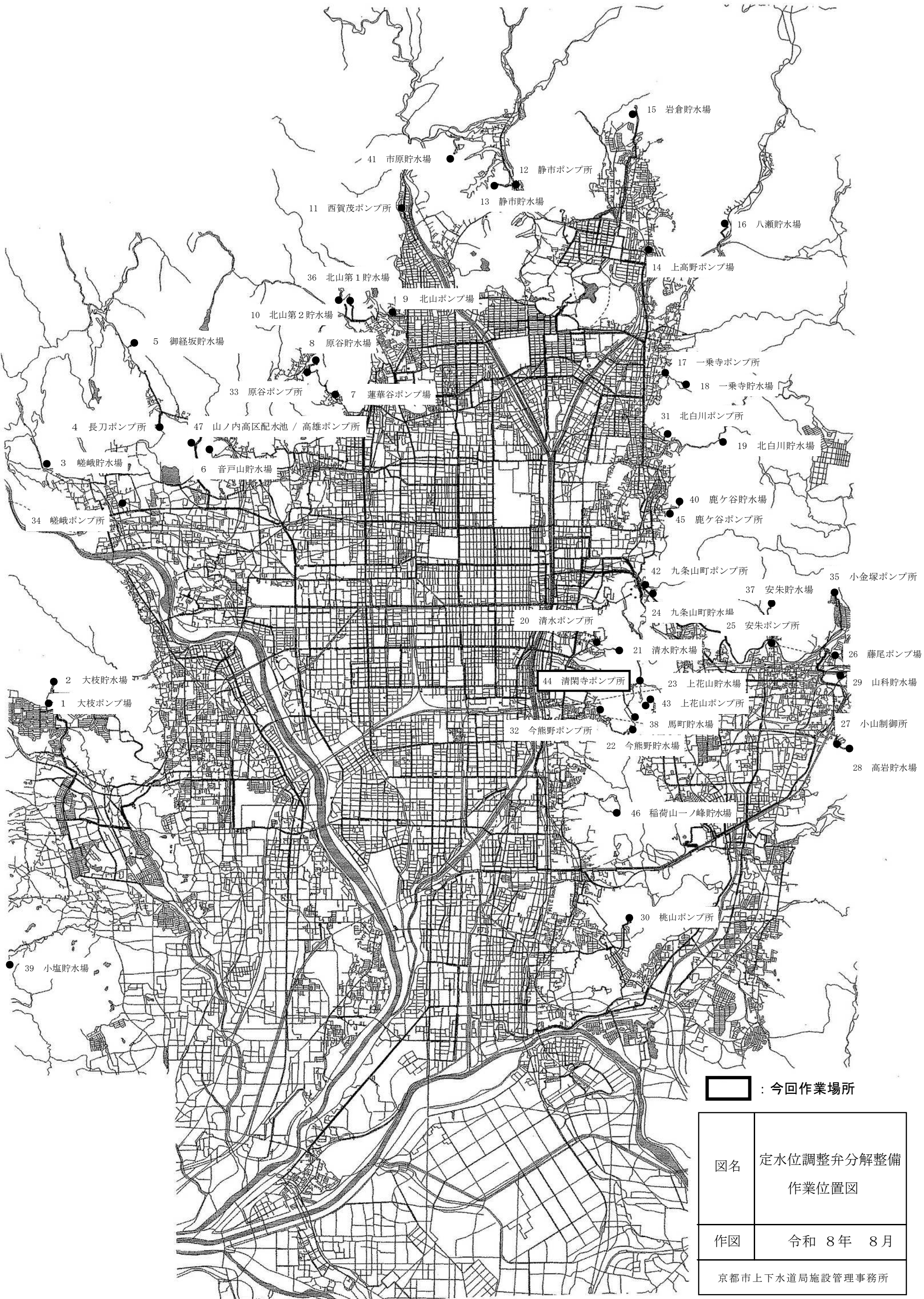
エ 作業開始時及び終了時には、監督員または、施設維持管理者に連絡を行うこと。また、現場作業の際は監督員の指示に従い、運転管理作業に支障のないようにすること。

オ 本仕様書に明記されていない事項であっても、当然必要と認められる作業については受注者の責任において行い、本作業の意図するところを十分満足すること。

M F C－ 1 0 0

部品一覧（清閑寺ポンプ所）1台分

名 称	形状・寸法	数量	備考・部品番号
カバーＯリング	NBR	1個	部品番号⑨ 構造図
バルブシート	NBR	1個	部品番号⑮ 構造図
ピストンパッキン	NBR	1個	部品番号⑫ 構造図
ポート	BC6	1個	部品番号⑰ 構造図
ピストン	BC6	1個	部品番号⑬ 構造図
シリンダー	BC6	1個	部品番号⑩ 構造図
圧力計	メートルコック付き	2組	部品番号⑲ 構造図
消耗雑パッキン	Oリング、NBR	1式	



44 : 今回作業場所

図名	定水位調整弁分解整備 作業位置図
作図	令和 8 年 8 月
京都市上下水道局施設管理事務所	

京都市上下水道局施設管理事務所

※は取替部品を示す